

2016年6月25日(土)

震災・復興とリスクマネジメント () 国際都市神戸と世界の文化 () 提言：国際紛争・対立から平和・協調へ () グローバルサイエンスと拠点都市神戸 (○) その他 ()

2016 神戸大学リレー講座3回

[概要] 社会基礎学～グローバル人材に不可欠な教養～



JAPIC 事業企画部 上村俊一先生



(受講者の振り返り) 受講前はグローバル化の中で一番大切なことは英語を身につけることだと思っていたが、自分の考えをしっかりと持つこと。宗教に対する柔軟性、他者に対する知識と尊敬の気持ち、自国の歴史に関する知識、などは最低身につけるべきだと感じています。



元農林水産省農村振興局長
経済産業省産業技術環境局長 末松広行先生



(受講者の振り返り) 農産物や森林などさまざまなものは「先人の努力の結晶であり、次の世代へ引き継いでいかねばならない物である。」との講師の冒頭に提示された言葉が本講義の中で学んださまざまな知識をまとめているとよみがえってきた。



釜石市長 野田武則先生



(受講者の振り返り) 地域のつながりは持続的にあるべきだ。講師の語る被災地の事実には私たちはどう向き合っていくべきか？被災地を訪れた私たちと同年代の若者と一緒に「日本はどのように変わるべきなのか？」との疑問について考えたいと思った。